

東静岡中央線歩道舗装工事における施工と第三者への配慮

木内建設株式会社 池松 孔二

1. 工事概要

- 工事名 平成23年度 東静岡第4号 東静岡中央線外1歩道舗装工事
工事場所 静岡市葵区曲金六丁目 地内
工期 平成23年8月19日～平成24年3月12日
工事概要 歩道天然石舗装工:2,490m²、車道舗装工:544m²、照明灯基礎工:2基
本工事は『静岡市都市計画事業 東静岡駅周辺土地区画整理事業』の一環として、東静岡駅南側の東静岡中央線歩道を天然石舗装にする景修工事です。

着手前

完成



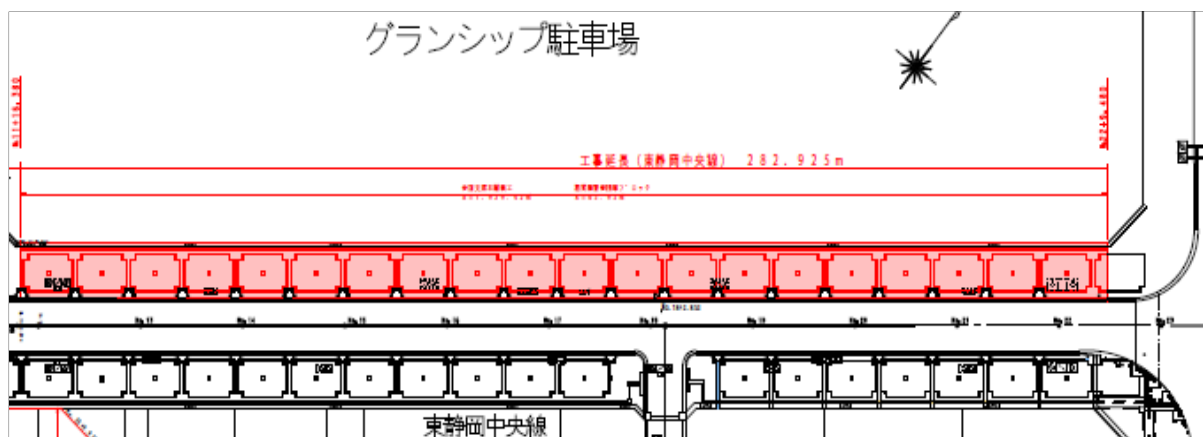
2. 施工方法の検討

視覚障害者用誘導帯の確保

現場内には、上記の写真の通り視覚障害者の方の誘導ブロックがあります。

現場西側には『静岡県立静岡視覚特別支援学校』があり、登下校時の通学路が現場となっているため、常時視覚障害者用誘導帯が必要となります。施工としては、当初10スパンに区画割りして進める予定でしたが、南北に区画割りして、視覚障害者用誘導帯を設置し、施工していくことにしました。

現場平面図



北側を施工している際は、南側に仮設の溶融式視覚障害者用誘導帯を設置し、南側を通行するようにして頂きました。また南側施工時は、北側施工時に視覚障害者用誘導帯ブロックも併せて復旧したので、通常通りに通行できるようにしました。

仮設誘導帯施工状況



仮設誘導帯施工完了



伸縮目地位置の検討

設計では、天然石舗装の下地はコンクリート工になっています。施工計画検討会では、コンクリート工の伸縮目地と天然石舗装の伸縮目地(ポリサルファイド系目地材)を合わせないと、それぞれ伸縮の起こる位置がズレてしまい、天然石舗装にクラックが発生する懸念があることが議題に上がりました。直線部は天然石のパターンが同じであるため、天然石に合わせたコンクリート工の伸縮目地を容易に設置することができるかと予測出来ました。しかし交差点部は、将来設置される横断歩道の位置によって視覚障害者用誘導ブロックの位置が決定しないと天然石舗装のパターン図が計画できないため、早めに警察との協議を行ってもらい、横断歩道の位置を決定してもらえることが大事である、という意見でした。実際には、市の監督員が早めに警察協議を行って頂いたため、パターン図の承認も早く、遅延なく施工することができました。目地のパターンは、直線部に比べて複雑でしたが、天然石舗装の割付に合わせて距離を追い、天然石舗装の伸縮目地にわせることができました。

3. 第三者への配慮

集塵機併用の切断

天然石舗装施工の際、端部に端尺ができるため、天然石を切断する作業があります。この際、埃の飛散

集塵機使用状況



が懸念されます。作業区間は歩道と車道に挟まれた場所であるため、埃の飛散を防止することが重要です。そこで集塵機を併用し、埃の飛散をおさえることとしました。工期の終盤にはC.Cボックスの鉄蓋内の天然石舗装があり、切断作業が多くなってきましたが、集塵機を併用して施工したため、第三者からの苦情等はありませんでした。

チラシの配布による工事の紹介

『静岡県立静岡視覚特別支援学校』の生徒の保護者に対して、通学路での工事がどのような内容で行われているか、また通行に支障が無いのか、などを紹介したチラシを配布しました。

これは、保護者の方に工事の内容や工事を安全に進めていることを理解してもらい、生徒の通学に対して工事中も安心であることをアピールしたものです。チラシの配布によって、保護者の方には工事に対して好印象を与えられたものと思います。

チラシの配布(支援学校にて)



4. 総括

今回の工事では、第三者、特に歩行者の事故が無かったことが一番何よりでした。また、街中での作業にも関わらず、近隣からの苦情がなかったことも、良かったことと思います。これも、各官公庁の御協力と会社からのバックアップがあったからこそと感謝しています。